

木材団地ニュース

2007.1 Vol.111

あたらしき大地

朝光の霧氷（長野県高ボッチ山）津田洋甫写真集「ふゆいろ」より



年頭のご挨拶

大阪木材工場団地協同組合
理事長 笠井 文雄



新年あけましておめでとうございます

皆様にはご家族お揃いの上、健やかに新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は当協同組合の運営に対して、暖かいご協力とご支援をいただき、ありがとうございました。

さて、昨年は従来から課題としておりました「工場団地インフラ整備事業の推進」を中心に、組合活性化事業や美原団地協議会による“木材団地「不法・迷惑駐車」撲滅運動”への取り組み等を皆様方のご理解とご協力のもと実施してまいりました。

特に、工場団地インフラ整備事業につきましては、4月に政令指定都市に移行された堺市行政のご理解により、団地内の市道敷地に埋設されている全雨水本管を8月28日付けで同市に移管することができ、団地内道路の公共移管についても、約97パーセントの道路が移管できました。

また、昨年初より団地内路上駐車問題の改善策として“木材団地「不法・迷惑駐車」撲滅運動”を展開し、定期パトロールの実施・啓蒙看板塔の設置をはじめ、企業による賃貸駐車場の増設もあり、この運動実施前に比べ路上駐車台数が約17パーセント強減少することができ相応の効果があつたと感謝いたしております。

一方、長年の課題である団地内公共アクセス改善問題につきましては、美原区役所との懇談会他でも度重ねてテーマとして取り組み、「組合活性化推進委員会」を中心に近鉄バス（株）の協力を得て現行バスの増便計画を立案し、団地内全企業の皆様に「ご利用に関するアンケート調査」を実施いたしました。

しかしながらその集計結果と皆様方のご意見により残念ながら今回の計画実施は見送ることいたしました。今後は通勤車両の共同駐車場増設など角度を変えて検討を継続していきたいと考えております。

本年度も引き続き、堺市行政のご理解を賜りながら公共下水化の早期実現や工場団地の付加価値向上のための施策実施と、団地内企業のニーズにスピードと行動力をもった対応を心がけ、「魅力」と「誇れる」工場団地づくりのため、邁進していく所存でございます。本年が皆様方にとりましてより良き年になることを祈念し、協同組合に対して変わらぬご協力とご支援をいただくことを役員一同心よりお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



目次

年頭のご挨拶	1	身近な architect design space	6
新春コーナー	2	あれこれ雑記帳	7
特集堺	3~4	ダイバーである幸せ	8
樹から木までの散歩道	5	お知らせコーナー	9~10
		パズル・編集後記	11

新春コーナー

干支（えと・かんし）について

明けましておめでとうございます。毎年のことながら年の始めは清々しく、そんな爽やかな中で、今年の干支は丁亥（ひのとい・ていがい）であります。丁亥を始め干支について多少考えてみたいと思います。

「干支（えと）」といえば十二支を連想いたしますが、元来、十二支は12年で天を一周する木星の軌道上の位置を示すための数詞でありました。また、「日（太陽の巡り）」を数えるための数詞は十干あり、この十干と十二支を組み合わせた「十干十二支」と、中国の陰陽五行思想との融合から確立されたものを一般的に「干支（えと）」と呼んでいます。

次に、陰陽と五行と干支との関係について、まず陰陽であります。これは最も簡単なわりに奥の深いものであり、プラスとマイナス、カオスとコスモス、男と女ともなりますと簡単にはいかず、大陸悠遠・四千年を経ましても深まるばかりで、結局、陰と陽とが万物生成の根本として理解するより他ありません。

五行というのは「木・火・土・金・水」の五つの万物の元をいい、これを陰陽の二つ、ここでは兄（え）弟（と）で分けたものを十干といい、木兄（き・の・え）を甲、木弟（き・の・と）を乙、火兄（ひ・の・え）を丙、火弟（ひ・の・と）を丁・・・とあてたものです。

これと別にあった十二支と組み合わせ、共に頭より組み合わせていき、六十の組み合わせ、甲子・乙丑・丙寅・丁卯・・・が生まれました。

昔から60歳になると赤いチャンチャンコを着てお祝いする「還暦」という風習は、この十干と十二支を組み合わせた六十干支が根拠となっております。

自分の生まれ年の干支の支の方つまり十二支、例えば亥を知っていても、干支の干の方つまり十干が分からないときは、下記の表を参考にさせていただき友人などの正確な干支を教えてください。

五行	陰陽	十干	よみ	十二支
木	陽	甲（4）	木の兄=きのえ	子
	陰	乙（5）	木の弟=きのと	丑
火	陽	丙（6）	火の兄=ひのえ	寅
	陰	丁（7）	火の弟=ひのと	卯
土	陽	戊（8）	土の兄=つちのえ	辰
	陰	己（9）	土の弟=つちのと	巳
金	陽	庚（0）	金の兄=かのえ	午
	陰	辛（1）	金の弟=かのと	未
水	陽	壬（2）	水の兄=みずのえ	申
	陰	癸（3）	水の弟=みずのと	酉
木	陽	甲（4）	木の兄=きのえ	戌
	陰	乙（5）	木の弟=きのと	亥

※（ ）内の数字を西暦年の末尾の数字にあてはめて割り出す。

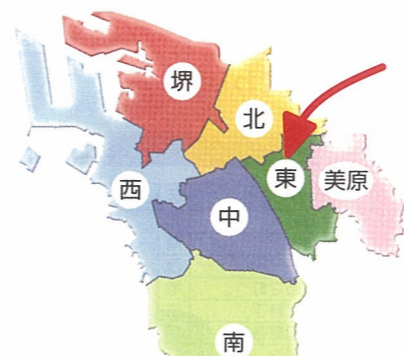


2007年の干支の「丁亥」の丁は、語源は草木の姿形が充実した状態を表しており、また、十二支の亥は「核」という文字もあるように、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表しており、起爆的なエネルギーを秘めております。したがって、「丁亥」の年は、国内外で新しい動きが活発になる年ではないかと予想されます。

いずれにしましても、読者の皆様、今年一年を健やかに「無病息災」で過ごされることを、あたらしき大地編集部一同心よりお祈りしております。

特集 堺

～次代の都市づくり～



東区
人口：84,758人
世帯数：33,101世帯
面積：10.48Km²
平成18年11月推計

CHECK UP 堺《東区》

3回目は「東区」を紹介します。

東区は、堺市の中央から東部に位置し、南八下・日置荘・登美丘などの地域で構成され、北は石原町（中央環状線近くまで）、南部は大阪狭山市に隣接し、区内は南海高野線沿線を中心とした市街地と農地からなっています。

この農地を利用して行われる「コスモス・レンゲの里づくり事業」は、魅力ある地域づくり推進事業として行われており、住民の協力のもと、春にはレンゲを、秋にはコスモスを育ててもらい、開花時期にあわせて畑を開放され、多くの方が花摘みなどを楽しんでいます。10月中旬からの満開のコスモス畑はとて素敵で必見です。

来場にあたっての詳細は10月の堺市東区広報に掲載されますので、今年の秋は近場でコスモス摘みを楽しんではいかがでしょうか！



また、北野田駅前周辺は、堺市東南部の地域生活拠点としての発展をめざし再開発されています。木造建築物が密集していた駅西側は高層館（アミナス北野田）として生まれ変わり、住宅・商業施設と東文化会館や東図書館、駐輪場等の整備が進められ、今春には東文化ホールなどがあるベルヒル北野田が完成する予定です。

住民のための快適で安全なまちづくりが着々と進んでいますね。

CHECK UP 堺《東区役所》

（協力：企画総務課 中野久美子主幹 石島由起子主査 佐野庸子さん）

東区役所は、まちづくり基金事業の一環として安心して子育てができるまちをめざし“赤ちゃんの笑顔づくり応援事業”を推進されています。

この事業は、すべての赤ちゃんがまわりの大きな愛情に包まれてすくすくと幸せに育つことを願い、平成18年10月より開始されました。

内容は、BCG予防接種の際に、東図書館員やボランティアの方々による絵本の読み聞かせを行い、対象者には絵本のプレゼントをするというもので、赤ちゃんの笑い声に包まれ和やかな雰囲気での開催は、1回目からとても好評を呼んでいます。



このように行政が子育てをあたたく応援することに着眼され、きめ細やかな事業を推進していくことが、今の時代に一番求められていることではないでしょうか。幼児虐待など悲惨なニュースが毎日のように流れる昨今ですが、「ちいさな事からコツコツと・・・」誰かの名言のように、きめ細やかな事業の積み重ねが、次の世代に繋がっていくと信じています。対応していただいた中野主幹をはじめ石島主査、佐野さんの優しい目線（まなざし）と暖かい想いは、今後も住民のための町づくりに繋がっていくことでしょう。



堺こだわりスポット(東区)

堺は昔から商人の町として栄えたところ。だから必然的においしい物や楽しいところが数多くあります。そんな中から編集部が独断で厳選したお店や施設を紹介いたします。

一心堂

昭和47年創業から、地元で愛され続ける和菓子店。すべての原材料を厳選の上、丹誠込めて吟味している「手作り専門店」の名物は『いちご大福』。いちごは国産にこだわり、一年中提供するために、その時期に適したいちごを求め、季節によって産地を変えているとのこと。丹波の大納言あずきが絶妙なバランスで入ったいちごが主役の大福は、白あん・つぶあんともに大人気。季節限定の「巨峰大福・白桃大福・栗大福・芋大福」などもあり、特に珍しいのが、ベルギー産の生チョコを使った『生チョコ大福』。チョコと大福なんて思わずにぜひ一度ご賞味あれ！今年のバレンタインは大福に決まり？？

東区日置荘原寺町19-7 TEL072-285-6798 定休日 水曜日 駐車場あり



イル・パスコレ

閑静な住宅街のなかにある、隠れ家的イタリアンレストラン。2000年のオープン以来、「どんなに忙しいときでもリクエストに応えたい。すべてのお客様にご満足頂きたい。」このこだわりが評判を呼び、遠方から通うファンも多い。レンガ造りの外観、おしゃれな店内、窓の外には丁寧に手入れされた木々や季節を感じさせる花と洗練されたサービスなどが高級感を演出。メニューは月替わりで、旬の食材と泉州の地魚や地野菜などを取り入れたコース料理は、パスタ・メインとも5種類以上から選べる贅沢さ。これがここの人気の秘密だ。

東区大美野81-2 TEL072-230-3666 定休日 月曜日 駐車場完備
ランチ(平日) 11:30~14:00(ラストオーダー) ランチ(土日祝) 11:30~14:30(ラストオーダー)
ディナー 17:30~21:30(ラストオーダー)



パティスリー・オートシ・ドゥース

北野田の再開発に伴い整備された駅周辺に、昨年7月にオープンした噂のケーキ屋さんがあると聞きつけ、突撃取材を試みた。北野田駅西側を北に500メートルほど進むと、白を基調とした可愛らしいお店が見えてきた。“ここに違いない”と店内に入ってみると予想どおり。明るくセンス良くまとめられた店内。甘い匂いに包まれて、思わず笑みがこぼれてしまった。ショーケースには、四季折々のフルーツを盛り込んだケーキや、色々な種類の焼き菓子が並び、あれもこれも食べてみたくなる。このこだわりは、「基本を忠実に守ること。作り置きはせず、出来たて・作りたてを重視したお菓子をつくること」と、オーナーシェフの甲斐信夫氏。

東区丈六93-5プロムナードビル1F TEL072-235-7199
10:00~20:00 定休日 月曜日



次号(4月号)の予告!

次号は「西区」をCHECK UP。耳寄りな情報がありましたらぜひ編集部(担当:小林・柳下 TEL:072-361-2670)までお寄せください。

-- 高野槇 --



国際植物学会 1998.8.23

昨年明るい話題が少ない中、多くの国民が希望と感じたのが、皇室秋篠宮家の悠仁様のご誕生であった。そしてお印(しるし)には高野槇が選ばれ、多くの報道がされたので、一躍高野槇が有名になった。高野六木として知られているが若い人たちではテレビで初めて知った人も多かったのではないだろうか。

お印とは、天皇や皇族方が、身の回りの食器や調度品を区別するための目印で、天皇陛下のお印は「榮」の文字だが、最近では植物が多く用いられている。樹木としては皇后さまが白樺、皇太子さまが梓(ヨグソミネバリ)、愛子さまが五葉躑躅(シロヤシオ)、秋篠宮さまが樺、眞子さまが木香茨(もっこうばら)で、木としては低木か中木、あるいは草花であった。私は悠仁様がお生まれになるまでにお印にはどのようなものになるか想像してみた。最初に草花ではなく大きくなる木で、クスではないかと考えた。しかしクスは悠々としているところはないのだが、無骨すぎる。そこで次にすくすくと伸びる杉ではないかと考えた。社内では予想は杉だと公言していた。外れてしまったが、高野槇も昔はスギ科に入れられていたこともあるから、当たらずも遠からじと自分自身で慰めた。

この発表があって、すぐに高野山に遊びがてら、取材に行った。金剛駅から特急こうやに乗ったわけだが、高野下から極楽橋までは、高山鉄道のような感じで、スリルがある。高野山では一の橋付近の供養塔周辺を散策したが、必ずと言っていいほど高野槇の枝を供えている。また、通りにはお供え用の高野槇の枝葉が道路脇のスタンドで売られている。僧坊にある高野槇の樹形はやはり世界三大庭園樹といわれるだけあって、おしゃれである。和洋どちらにでも合うだろう。

その直後林野庁の中島孝雄さんからメールをいただいた。これから訪問される方のご参考に紹介する。女人堂の脇から国有林に入る歩道が整備されており、そこから高野槇の植物群落保護林に行くことができる。台風被害も受けているが、ほぼ純林状態の高野槇の森林を見ることができるといふ。また枝の採取用として、高野龍神スカイライン沿いの人工林の写真もいただいた。(左上)

高野槇は高野山だけでなく福島県から本州、四国、九州などにも断続的ではあるが分布している、岐阜県でも木曾五木として有名で、中津川市のシンボルとなっている。世界的には中生代に出現し、第三紀末までは欧州にも生育していたが、その後衰退し、



僧坊の高野槇

日本だけに残った一属一種しかない珍しい木である。材は特有の匂いで人によって感じ方は異なるだろう。保存性は中程度で、切削などの加工及び乾燥は容易。建築・器具・土木材として利用されてきて、現在では出節の磨丸太などとして生産されている。

水湿に耐える点では松の2倍以上あり、黒ずみにくい特徴があり、水を含んでも軽い。檜の硬さ、色、艶、気品などの長所と、サワラの軽さ、水湿性の長所を持った木といえる。そんなことから、木の風呂として再度評価されてきた。

樹皮は繊維質が強く、フェルトのように柔らかく温かい。水を含むと膨張し、繊維に樹脂を含むため腐りにくい。この樹皮を砕いて繊維にしたのが「槇皮(まいはだ)」と呼ばれるもの。昔は荒物屋でも売られていた。桶、井戸の壁、和船の舟板の隙間などの水漏れ防止用パッキングとして利用されてきた。

日本書記の中で、須佐之男命が「マキは棺材に」と指定しているが、事実、近畿地方から出土する木棺のほとんどが高野槇である。高貴な人用として使われ、遠く朝鮮半島にまで運ばれていた。また、木簡も高野槇が多く、文字も鮮明に残っている。木は水中や地中などの酸素が供給されないところでは腐りにくいのは理屈ではわかっているが、千年を超えて残っているのだから驚く。

文学では、この木の出現率は少ないが、それでも鴉外の「雁」藤村の「夜明け前」龍之介の「老年」、宇野千代さんの「淡墨の桜」、小塩節さんの「木々を渡る風」などに出てくる。「夜明け前」以外は庭木として登場しているが、「夜明け前」では木曾五木として、禁木制度のため苦しい生活状況の説明に焦点が当てられている。

高野槇は細長い葉を小さな円状に上に伸ばし、更にこの小枝は多数集まって大きな円状になる。円木(まるき)と言われる程である。また幼木の時の成長が極めて遅く、植林には不適とされている。成木になってから幹はよく伸びるが、その後は樹高が一定している。防火樹として高野山では僧坊の間に多く植えられていた。

高野槇を人に例えれば、大器晩成の努力家で、志はまっすぐ、そして高く、高所大所から物を判断し、人と人とのモメごとのクッション役になる人であろう。

中川木材産業(株) 中川勝弘



コウヤマキ人工林



高野山のみやげ 槇の雫

GARDEN OF FINE ARTS

京都府立陶板名画の庭

〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町 (京都府立植物園北山門出口東隣)

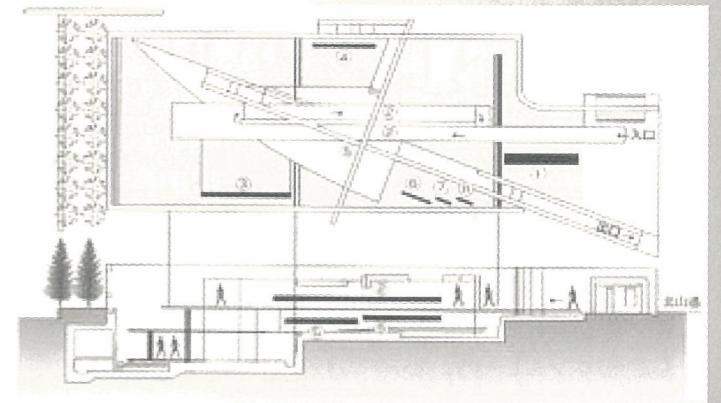
TEL:075-724-2188 FAX:075-724-2189

開園時間:9:00~17:00(入園は16:30)

休園日:1/1~1/4,12/28~12/31

入園料:一般 100円 小中学生 50円

<http://toban-meiga.seesaa.net/>



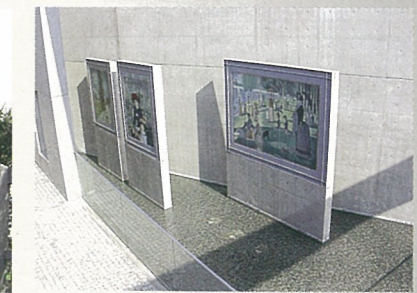
「京都府立陶板名画の庭」は、名画の美しさをそのままに再現した丈夫な陶板画を、安藤忠雄氏設計の施設に展示しています。屋外で鑑賞できる、世界で初めての絵画庭園です。陶板画は全部で8点。このうち、「最後の審判」など4点は、「1990年国際花と緑の博覧会」に出店されたもので、「テラスにて」など4点はこの施設のために新しく制作されたものです。これらの陶板画は堺屋太一氏の発案企画により、ダイコク電気(株)代表取締役栢森新治氏から、京都府に寄贈されたものです。



この建築物は、屋外展示用の施設でありながら、アプローチと壁面が幾何学的な交差をみせ、不思議な空間を作り出しています。僕はこの建物に安藤氏独特の空間演出技法を感じます。一見無駄とも思える船の先端のような尖った場所、水の流れの演出、そそり立つコンクリートの壁面、その先にある開放感。屋根のない建築物でありながら、そこにある空間を感じる事が出来る建築物です。



↑ 水の中にも、実は陶板画があります。モネの「睡蓮・朝」です。ミケランジェロ・ダビッチ・ルノアール・ゴッホなどの有名な陶板、「鳥獣人物戯画」や「清明上河図」の巻物を陶板にしたものもあります。



陶板画とは… 原画を撮影したポジフィルムから写真製版し、転写した陶板を焼成して鮮やかな色を再現したもので、それを何枚も組み合わせる事で巨大な絵画にしたものです。変色も腐食もしないので、長く保存する事が出来、焼物と芸術の複合した新たな芸術ジャンルと言われています。

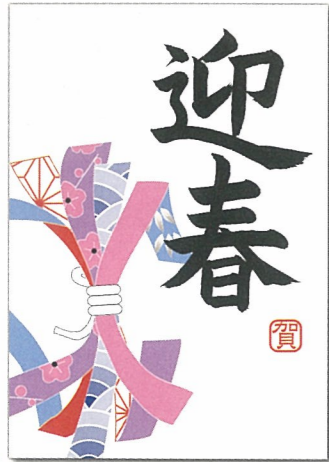
←左下の黒いのが私です。この陶板の巨大さがわかると思いますが…

「年賀状」

(その九)

新年号にふさわしく、今回は年賀状がテーマです。「もーッ幾つ寝一ると一、お正月」。お正月になれば、親戚、友人、会社の同僚達と年賀状のやり取りするのが楽しみになっておりますが、いったいつ頃からこの習慣が始まったのでしょうか。私が小学生だったウン十年前には、もうお年玉付き年賀ハガキをもらうのが楽しみでしたので、年賀ハガキ自体は随分前からあると思いますが、親に聞いても「大正は無かったんちゃうか」などと、いい加減なことをのたまいます。当然ながら郵便制度が出来た明治時代以降というのは当たり前前のクラッカーですが、年賀郵便は意外と古くはなく、調べてみますと1899年(明治32年)から取り扱い開始となっております。日本で郵便が始まったのは1871年(明治4年)ですので、それ以後ハガキの使用と共にハガキで年賀状を送るという風習が徐々に広まってゆき、当初は新年が明けてから年賀状を書くという習慣のようで、郵便局が忙しくなるのも年明けからのようでした。そして、郵便の利便が庶民にすっかり定着した明治32年に、一定期間に投函すれば年賀状がお目出度い1月1日の消印で元旦以後に配達されるという年賀郵便特別扱い制度が始まりました。これにより、以前までは元旦や2日に書き始めていた年賀状を年末中に書くということになり、これが現在の年賀状元旦配達のルーツになります。

年賀状とは、旧年中のお礼と、新年からの新たなお付き合いをお願いする挨拶状のことですが、日本には、もともと新年の挨拶として年始回りと言う行事があり、



それが行えないような遠方の親類、縁者への年始回りの代用として年賀状を出すことが、いつの間にか近所の友人知人にも誰れ彼れ無く出すように様変わりしてしまったために、元旦配達ハガキが爆発的に膨れ上がり、現在では郵便局内の作業の事情から12月20日頃が投函の目安とな

ってきています。

では、世界でも類を見ない独創的なお年玉くじ付き年賀ハガキはいつ出来たのでしょうか。昭和24年12月に京都の一民間人、林正治という方によって考案されたそうです。昭和15年、戦争による耐乏生活から紙の消費節約のため年賀状が中止され、その後終戦から4年経って、打ちひしがれた生活状況の中でお互いの消息を伝え合おうと、やっと年賀状制度が復活しましたが、その年賀状にくじを付け、夢を持つことで、明るい未来に希望の火を点そうという素晴らしいアイデアが、その後のくじ付き年賀状の大ヒットとなりました。ちなみに最初の年、昭和25年の特賞はシンでした。その後、電気洗濯機(31年)、8ミリ撮影機・映写機(41年)、電子レンジ(59年)、ビデオカメラ(平成6年)、ノートパソコン(平成14年)と、国民生活の向上とともにその賞品の豪華さも世の変遷を表しております。ちなみに、今年はハワイ旅行です。

では、そのお年玉付き年賀はがきの発行枚数は、どれ位かということ、なんと約38億枚。ざっと平均して日本国民一人当たり約38枚、年賀状を書いている計算になりますが、いかがでしょうか。「うーん、それくらいは書いてるで」という実感がありますか。ちょっと前まで、年賀状といえば裏面は印刷し、表の宛名を、筆ペン片手にシコシコと、仕事から帰った年末の夜、嫁はんを手分けして、テレビの歌番組見ながら書いたものですが、夫婦で100枚書くとしてほしい3日かがりの仕事でした。しかし昨今は、表も裏もみなパソコンでいとも簡単に自宅印刷、約1時間。おまけに本屋では年賀状のデザインやら、宛名印刷ソフトやら500円位から仰山売ってます。ということで、我が家の年賀状は、ぜんぜん手書きしてません。手抜きではないのですが、今風に綺麗な出来合いの、さっぱり有り難みの無いものになっている今日この頃です。



～ダイバーである幸せ～ 海の水はなぜ青いの？

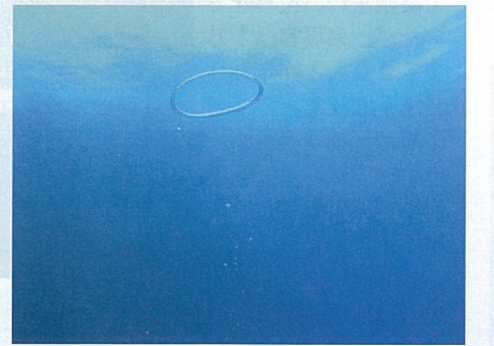
「海の青って」なんだろうという前に、色ってなんだろうと考えてみましょう。

太陽の光は虹で見えるように、波長が長い順に 赤⇒オレンジ⇒黄色⇒緑⇒青⇒紺⇒紫 の7色に分かれます。空が青いのは、波長の短い青は大気中の粒子にあたっていろんな方向に散らばりますが、波長の長い赤は直進するので、散乱した青い光が目に入るため青く見えるのです。夕日は、より長い距離の大気を通ることになり、散乱せずに残った赤い光だけが届くため赤く見えるのです。雲が白いの水蒸気が全部の光を散乱させるからです。

よく晴れた日、海面がキラキラしています。すべての太陽光線が水面に反射して、キラキラまぶしいのです。海が青く見える理由も、これと同じ青い光の散乱によるものと考えている人が多いのですが、実は違います。次に、いよいよ水中に行きます。

水を構成する水素と酸素の原子は一定の周期で振動しています。そしてその周期が赤い光の波長と共振するので、水中では太陽光線の赤⇒黄色⇒緑⇒青の順番で吸収されます。こうして赤が吸収されて残った青い光が、海底や水中の浮遊物(プランクトンなど)にあたって反射されたのに加え、海の表面で空の青が反射されるので、海は青く見えるのです。簡単に言うと、水が赤い光を吸収して、海が青い空を映しているから、海が青く見えるということです。

ダイバーはこの4色のカラーの付いたプレート在水中に持っていき、この順番に色が吸収されていく様子を見る事が出来ます。赤い色は水深10mでは黒にしか写りません。



水中の写真を見たことがあるでしょうか。どれもきれいな青色をしていますね。逆に水中でカメラを持って写真を撮る人は、写真が全部青色になってしまうので色戻すためフラッシュを使用することもあります。フラッシュを焚くことで、吸収されて見えなくなっていた色がきれいに再現されます。ダイビング中にも、ライトを当てると、魚やサンゴなどの色がよりきれいに見えます。



海の色は、先に述べたように波長の長い赤い色から吸収されます。深いところまで到達した青い光が、水の分子によって散乱され水面まで戻ってきます。このため透明度のよい海水は、青く見えます。和歌山の近くを通っている黒潮は、プランクトンが少ないため濃い青に見え、それが「黒い潮」と表現され黒潮になったのです。プランクトンが多い透明度の低い親潮はどうでしょうか。やや緑っぽい色に見えます。これは、表層に漂うプランクトンなどの浮遊物に、海水にまだ吸収されていない黄や緑の色が反射しているからです。

浅くて明るい海は鮮やかですが、音のない青い世界は落ち着きます。特にどこまでも続く砂地などを見ていると、それに冬は良いです。和歌山の海は相変わらず青いし、沖縄は海の青さが違います。海の中から空を見上げると、とてもきれいですよ。

今年もどどん潜って、素敵な写真、撮っていない生物の写真を撮りたいものです。

(株) サンヨーメディカル 潮田由子

だれにでも守りたいものがある

だからこそ身近で手頃なセキュリティを機械警備から総合メンテナンスまで...

<安心と安全>で確実な警備を提供いたします

東洋テック株式会社
南大阪支店 TEL 072-221-0753

printing
キクイ印刷工芸社

伝票・封筒・シール・カラープリント出力
〒583-0852 大阪府羽曳野市古市6丁目12-9
Tel.072-956-6881 Fax.072-956-6883
E-mail kikui@kawachi.zaq.ne.jp

安心と安全のコンサルタント
損害保険・生命保険のことなら
保険代理店

有限会社 合同保険センター

堺市堺区向陵中町3-2-6
Tel 072-257-8751
Fax 072-256-1118

マット・モップ・清掃用具一式
レンタルします。見積もり無料!

株式会社 **ダイキチ**



商品本部
〒597-0094 大阪府貝塚市二色南町2-11
TEL:0724-38-4500 FAX:0724-38-4455
南大阪営業所
TEL:0120-208005
FAX:0120-400894
担当窓口：松井 亮二

お知らせコーナー

組合からの報告

10月28日(土)～29日(日) 木材団地まつり

当協同組合の秋の恒例行事「第22回木材団地まつり」が、今年は「木と遊ぼう」をサブテーマに「メッセ美原」において堺市政令指定都市移行記念事業として開催された。

当日は、秋晴れの好天に恵まれ堺市をはじめ近郊からの家族連れで終始賑わいをみせていたが、来場客は1万7500人と昨年より若干下回った。

堺市伝統地場産業・特産品コーナーでは、「自転車」「刃物」「線香」「敷物」「昆布」など堺市の地場産品のほか新たに「和菓子」の展示即売や実演が行われ、政令指定都市移行記念事業として大いにアピールした。

また、木とのふれあい体験コーナーでは、「原始火おこし体験」「丸太切り体験」「ガーデニング教室」(主管：(財)堺市公園協会)、「木工教室」(主管：日本日曜大工クラブ大阪支部)などが行われ、特に今回、新たに設置された「木製探検アスレチック」は、冒険心いっぱいの子どもの人気を集め、終日、木とのふれあいを楽しんでいた。

その他、「チェーンソーアートの実演」(チェーンソーアーティスト塚原吉智氏ほか)、「よさこいソーラン踊り」(主管：大阪メチャハッピー祭実行委員会)などのイベントも昨年に引き続き開催に花を添えた。



社名変更

下記のとおり組合員名が変更になりました。
変更前組合員名 ジャパン建材株式会社
変更後組合員名 JKホールディングス株式会社
変更日 平成18年10月1日

11月11日(土)～12日(日) 全員例会

例年秋に開催される協同組合の全員例会は、鳥取県米子市・皆生温泉方面で27社(総勢30名)の組合員参加のもと実施された。

初日は、足立美術館(安来市)で日本庭園と横山大観をはじめとする近代日本画を鑑賞したあと宿泊ホテルにて、協同組合の平成18年度上期事業報告と(株)大阪木材団地サービスの株主総会が行われた。

翌日は、観光やゴルフを楽しみ、参加者の親睦を深めた。

11月23日(木)～26日(日) 外国人研修生面接会

協同組合の「外国人研修生共同受入れ事業」として、来年度の研修生受入れのための「面接会」を中国遼寧省大連市「中国大連国際合作(集団)股份有限公司」並びに江蘇省南京市「中国江蘇国際経済技術合作公司」において行われた。



11月24日大連国際研修センターにて



11月25日面接会場風景(南京市にて)



お知らせコーナー

12月1日(金) 飛翔会総会

飛翔会は、大阪狭山市の「はりまや」で第13期通常総会を開催した。

総会では、事業・決算報告、事業計画案・収支予算案がそれぞれ承認されたほか、新会長に松川常宏氏〔(有)松川組〕が選任された。

12月6日(水) 防犯講習会

協同組合事務局並びに簡易郵便局では、年末の特別警戒活動の一環として、所轄の黒山警察署生活安全課から講師を招き防犯講習会を実施した。

今回は特に、万一の事態に備え、事件発生時の職員任務分担を明確にするなど、防犯体制の徹底と防犯意識の向上を図った。

美原団地協議会からの報告

不法・迷惑駐車撲滅運動

当協議会では、昨年1月から“木材団地「不法・迷惑駐車」撲滅運動”に取り組み、はや1年が経過いたしますが、この運動を内外に周知・アピールすることを目的とした「めいわく駐車追放推進工場団地」の看板塔を、10月23日に団地内2箇所(組合会館前、木材団地東入口)に設置いたしました。

組合会館前



木材団地東入口

12月6日(水) 火災予防講習会

美原消防署警備課並びに予防課より講師を招き、火災事故の危険性が増すこの時期、各職場の防火・防災に関する意識啓発・高揚を図る目的で講習会が下記の内容で

開催された。(参加者30社43名)

また、担当より防火に関して「先日、工場団地内で大規模な火災事故が発生していることもあり、ぜひ、工場団地全体で火災予防に取り組み、安全なまちづくりにご協力いただきたい」と話があった。

- ・ビデオ講習 「火災!あなたの工場は大丈夫?」
- ・通報訓練 火事が発生したと仮定して、「119」に通報する
- ・初期消火訓練 訓練用消火器を使った初期消火

木栄会からの報告

11月16日(木) 情報収集見学会

11月度事業として、情報収集を目的とした見学会を会員9社12名が参加して行われた。今回は、堺浜にある次世代型路面電車「LRT」(ライト・レール・トランジット)のトランスロール試験線プロジェクトを見学した。



ウッドリーム友の会の報告

12月3日(日) ガイアシンフォニー上映会

「ウッドリーム友の会」12月度事業として、龍村仁監督のドキュメンタリー映画「地球交響曲(ガイアシンフォニー)第4番・5番」の同日上映会を実施した。

当日は、自然の音にこだわり、ココロ、カラダに気持ちいい音を再現した、こだわりのスピーカーが使用され、参加者はその臨場感ある音色に聞き入っていた。

尚、ガイアシンフォニー第6番を今春上映予定としておりますので、お楽しみにしてください。

木栄会からの情報

臨時総会

1月度事業として、平成19年度の役員選出のための臨時総会を開催いたします。

と き：平成19年1月29日(月) 午後6時から
と ころ：組合会館 2階 大会議室

小山園で初めて知ったお茶の味 日本茶は世界が注目
職人技で磨き上げた 納得の老舗
本物志向の味は秀作 お茶は心のふる里

健康を造り出す・カテキンやミネラル豊富な静岡銘茶
少量からでもOK!お気軽にお問い合わせ下さい。藤井寺市道明寺1-9-31

0120-373268 TEL FAX: 0729-55-4920
社団法人 日本茶葉中央会認定会員 第A20510号

(株)オートシステム

タイヤ・ホイール専門店

国産・輸入・多種取り扱い。
安心してご購入求めいただけます。
堺市美原町木材通り2-1-39
Tel 072-363-0772

中古車・車検・キズ直しお任せ下さい!

安全を願い、お客様のカーライフをサポートする



昭和シェル石油株式会社特約店
株式会社 オクヒラ
木材団地前店

〒587-0042 堺市美原区木材通4-9-24
TEL(072)362-5063

松下電器代理店・関西電力認定店
電気設備工事一式・電化製品販売、修理

有限会社 ヤ7 / 電気

本店

〒587-0022
堺市美原区平尾463-1

TEL 072-361-7155
FAX 072-361-5884

きたの店

〒599-8126
堺市東区大美野6-5

TEL 072-230-0121
FAX 072-230-0131

PUZZLE No.80

★問題★

赤色枠内に入った数字のうち、一番多く出てくる数字は何でしょうか。あいているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。タテ列、ヨコ列（各9列）、太線で囲まれた3×3のブロック（9マスあるブロックが9つある）のどれにも1から9までの数字が一つずつ入ります。

答

会社名

氏名

4		8				2		7
	2			4			1	
1			8	2	9			6
		6		3		4		
	3	2	5		4	9	8	
		5		8		3		
2			3	7	1			8
	8			9			3	
3		7				1		9

★応募方法★

パズルの答えと会社名、氏名を上記の欄に明記して、組合事務局編集部へこのままファックスするかメールでご回報下さい。

解答1枚につき1名様。

FAX : 072-361-0629

E-mail : olid3@wonder.ocn.ne.jp

★賞品★

今回はお正月特別企画として、正解者の中から抽選で、1名の方に賞金1万円を、3名の方にクオカード（2千円分）を差し上げます。

★締め切り★

平成19年1月末日

★当選者発表★

あたらしき大地112号誌上
(平成19年4月発行予定)



表紙写真作者の紹介

日本写真家協会会員 ツダヨウホ
日本写真芸術学会会員 津田洋甫 先生
大阪市内在住

発信元 大阪木材工場団地協同組合
堺市美原区木材通4-1-1
TEL 072-361-2670
FAX 072-361-0629

新春コーナーの干支についてのお話が??の皆様へ 日本に伝わる干支についてのお話

福島の民話から.....
昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちに「お触れ」をだしたそうなの。元旦の朝、新年の挨拶に出かけてこい。一番早く来た者から12番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大將にしてやろう」動物たちは、おらが一番とて、めいめいが気張って元旦が来るのをまっておった。ところが、猫は神様のところにいつ行くのか忘れてしまい、ねずみに聞くと、ねずみはわざと一日遅れの日を教えてやった。猫はねずみが言うのを聞いて、喜んで帰っていったそうなの。さて、元旦になると、牛は「おらは歩くのが遅いので、一足早く出かけるべ」と、夜のうちから支度をし、まだ暗いのに出発した。牛小屋の天井でこれを見ていたねずみは、牛の背中に飛び乗った。そんなこととは知らず、牛が神様の御殿に近づいてみると誰も来ていない。我こそ一番と喜んで待つうちに門が開いた。とたんに、牛の背中からねずみが飛び降り、ちよろちよろっと走って一番になった。それで牛は二番、それから、虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順でついた。猫は一日遅れで行ったものだから、番外で仲間に入れなかった。それで、ねずみを恨んで、今でもねずみを追い回すそうなの.....

今年の干支は「亥(猪)」。猪突猛進とか強情とか、よくいわれてますが、一番びりって、けっこうのんびりしたやつだと思いませんか(笑)以上、年女の余談でした。

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

- ◆ 新しい年を迎え、ひとつの目標をたててみました。なんて発表するほどのことでもないのですが、新しい手帳に、わかりやすく予定を記入すること。たとえば、仕事とプライベートの色を変えるとか、大切な?！日にはシールを貼るとか。
- ◆ そして何よりも、無理のない日程管理をすること・・・と、そんな地味な目標も3日足らずで砕け散った手帳を手に、東奔西走の日々がスタートしました。
- ◆ こうして、日々汚れていく手帳?を愛しみながらいい思い出を積み重ねていきたいものです。皆様の手帳にも素敵な思い出が刻まれますように.....
- ◆ 本年も宜しく願いいたします。
- ◆ 各社のPR・個人情報何でも結構ですので、どんどん情報をお寄せください。
- ◆ FAX 072-361-0629 担当:小林